

純信堂



川之江町塩谷（国道11号線沿い）

♪「土佐の高知のはりまや橋で 坊さん、かんざし 買うを見た。よさこい よさこい」♪

高知のよさこい節の一節。このお坊さんが、純信である。土佐竹林寺の僧純信は、お馬という女性と恋に落ちた。しかし、お馬があまりにも美しくお馬と純信の恋をこころよく思わなかった人々が多くいた。その結果、世間の人々から非難を受けるようになり、関所をやぶって香川県まで逃げてきたのである。しかし、そこでつかまり、純信は川之江に追放されたのである。その後、純信は、甥石亀吉（めおといしかめきち）の世話で川之江に寺子屋を開き、慶応3年（1867年）に48歳でなくなった。